KAISER SOUND

新時代のオーディオ構築論

カイザーサウンドは今年で創業30周年

オーディオと音楽を趣味とする見識ある素晴らしい人達のご愛顧によって、カイザーサウンドは今年創業30周年を迎える事が出来ました。この場をお借りして深く感謝、厚く御礼申し上げます。30周年という大きな節目を迎えるに当たって、カイザーサウンドが目指して来たオーディオのテーマやロマン、そしてローゼンクランツ製品の持つ特徴や魅力等に触れながら、「新しいオーディオ構築論」を述べてみたいと思います。

世界で一番良い音を作るんだ!

やる気に満ちていた私は、創業と同時に「世界で一番良い音を作るんだ!」と、不可能にも近い高いハードルを自分自身に荷せました。その決意の表れが苗字の貝崎をもじって付けた社名の「カイザーサウンド」なのです。

バブル崩壊は日本経済を麻痺状態にし、国民全体が不安に襲われる事態になりました。それは人間の根幹の部分に潜んでいる強欲について、真剣に考えるまたとない機会でもありました。この先良識派を中心とした「本物思考の動きが必ず出てくるはず!」とプラスに受け止め、腰をすえてオーディオの研究に取り組む決心をしたのです。そして「自分自身が欲しい音を作るんだ!」をテーマに「Ｒｏｓｅｎｋｒａｎｚ」のブランドを立ち上げました。

オーディオはチームプレーです

大方の人達は機器の相性の良し悪しを中心にシステム構築を進めますが、それは「運まかせ」「金次第」の要素が強すぎる上に、低い目標にしか到達出来ないと考え、私自身その方法をキッパリと捨てて後回しにしました。

代わりに私が掲げたテーマはその真逆であり、どんな機器の組み合わせであっても、鍵となる幾つかのポイントを押さえれば、必ずや音楽としての体を成すはず。言い換えますと、個々としては高い能力を持っていながらチームワークが良くないグループよりも、少し能力が劣っていたとしても、気持ちが一つにまとまったベストコンディションのチームの方が良い結果につながるという考え方です。そのテーマを実現する為に、「どんな条件が構築されたなら良い音になるのか?」の一点に絞って研究し努力しました。

オーディオの3大条件

1 電気の時間軸

周波数バランスと低、中、高音のエネルギーバランスが一番優れている長さは94・5cm(0.9kaiser)です。ローゼンクランツのケーブルは、その考え方を基本に適宜適切に作られますが、「音を計る物差し」という触れ込みで、私のオーディオ人生を賭けて発表した「カイザーゲージ」がそのルーツになっているのは言うまでもありません。

その中でも更に細かく変化する周期がありまして、小さい波で5・2・5ミリ、これは音の響きの正確さの基となる高音域と関係があります。また、中音域に強い影響を及ぼす長さはその3倍の157・5ミリで、移ろい易い人間の感情表現面に変化が現れます。これはどんなケーブルにおいても共通します。美しい和音もちょっとずれただけで、不協和音になってしまうのと似た現象なのではと推しています。

インシュレーター

2 振動の時間軸

音楽情報を伴った振動は休む事無く緩急と強弱を予測不能状態で繰り返すので、振動の大半が瞬時に帯音が発生し音を濁してしまいます。それを踏まえた上でインシュレーターの理想を、何億年の進化と淘汰の中で生き物の頂点に立つ人間(哺乳類)が身に付けた「歯と歯茎の構造」に着眼したのです。

強く大きな振動は歯茎に相当する半田層で減衰させながら素早く床に逃がしますが、その「ハイブリッド歯茎構造」もオススメ2重フィルターになっているので、決して機器への逆流振動は許しません。残った微弱振動は瞬一打毎に大気中にパルス波動で放出されます。スパイクを上に向けメスをその上に乗せる方式であり、前1点の3点支持はローゼンクランツが元祖です。オリジナリティーに溢れるそんなところが「インシュレーターの王様」とローゼンクランツが呼ばれている所以の部分かもしれません。

インシュレーター

3 空間の時間軸

スピーカーの位置調整によって、部屋の気流の反射周期の迂複合わせをする事を「カイザーウェーブセッティング」と呼んでいますが、そのタイミングと位相が揃うとエネルギーが豊かになり、尚且つ美しい音色になります。

解り易い比喩ですが、エンジンの点火タイミングが上手く調整出来ると、爆発力が上がると共に排気ガスもきれいになります。当然ピストンの運動効率も高くなります。全く別のようではありますが、原理としてはスピーカーとシリンダーに相当する部屋の関係と同じようなメカニズムです。スピーカーが気流を上手く掴まえ、タイミング良く叩けるようになると、どこかで不自然だった音から一変して素晴らしい音楽に生まれ変わります。

「音のカラクリ」を5つに分類して研究を重ねました

❶素材による音の違い ❷形状による音の違い ❸色による音の違い ❹方向性による音の違い ❺構造による音の違い

理に適った「構造」に秀でた「形状」を施し、響きの「方向性」を揃えて、「素材」の魅力を引き出し、更に「色」の持つ魅力と力も大切にする。常にこの五つの項目を設計に折り込み、検証行為を伴った物作りに励んでいます。カイザーサウンドは特に木や金属の響きの方向性の重要性を提唱し続けているオーディオ界の改革者です。

楽器という道具を使って音に強弱や緩急を付け、音楽として自在に操れるのは人間が持つ特別な能力です。その音楽たらしめているコミュニケーションの因子であり波動要素と「カイザーゲージ」の長さの周期の間に根源的な秘密が隠されているものと睨みをつけています。それは電気というエネルギーでも、また物体に加えた振動であっても、尚且つ空気という媒質に振動が加わった時にでも、私の体験では全く同じ現象として感じる事が出来ます。

電気、振動、気流、共通しているのは目で捕まえ難いエネルギーです。特にオーディオ設計者はその見え難いモノを観えるが如く、己の心眼を鍛え磨かなければ素晴らしい製品を生み出す事は出来ません。

この「3つの時間軸」と「5つの音のカラクリ」を製品開発の基本に据えて、日進月歩その精度であり完成度を上げる努力を重ねています。そうした私の考え方に影響を受けているであろう技術者や商品が散見出来るのも、カイザーサウンドの技術力の高さを物語るものです。

電源環境悪化の解決法

インターネットによって世界中に張り巡らされたネットワークは、あらゆる情報を享受出来る傍ら、ノイズをまき散らす加害者になったり、その反対に被害を受けたり、ジキルとハイドの如く二面性を持っております。

特に始末に負えないのが、電気代が安くなると謳った冷蔵庫やインバーター照明器具達です。これらはステレオの音を想像以上に悪くします。メーカー自ら己の首を絞めているのです。

そんな深刻な事態に、一時は音質改善の為にノイズカットトランスに救いを求め、開発を真剣に考えた時期もありましたが、音の鮮度面で萎える傾向があるのと、一方でタップ方式に拘ってきた私としては、安易に他の方式に逃げるような事だけはしたくなかったのです。

伝説の電源タップ「ＮＩＡＧＡＲＡ」を誕生させたプライドが、更なる高みを目指すエネルギーへと繋げてくれました。その第4世代となるＮＩＡＧＡＲＡＪｒＴｙｐｅ4は157・5ミリを1倍とし、315、420…、最大6倍長までの配線を施した「和音ワイヤリング」と名付けた独特の技術を用いております。

中でもその拘りは音がふらつかない1口コンセントの採用であり、負荷の違う機器に必要に応じて瞬時に電力を分配供給すべく直列と並列を巧みに併用した世界初の構造であります。それはまるでアナログコンピューターを内臓した万能楽器のようです。

ＮＩＡＧＡＲＡ ＪｒＴｙｐｅ4をオーディオの司令塔として仲間に是非加えて下さい。

NIAGARA Jr.type4

生きた電気に蘇らせます

Ｍａｘｉｍｕｍ／Ｔｙｐｅ32というＡＣケーブルを壁コンセントからタップ間に繋ぐと、あれほど嘘臭かった太鼓の音が本物とそっくりな鳴り方に変わります。ノイズをもろともせず生き生きと鳴る電源環境をタップとケーブルのみによって成し得た瞬間です。数十年前の魅力ある音が蘇ったその感じ雰囲気を他に表現するなら、故郷の川がきれいになってホタルが戻ってきたというのがピッタリです。

30番台シリーズは機器の受け持つそれぞれの役割に合わせて設計した全く新しい概念のＡＣケーブルです。高価なアンプや機器よりも遥かに大きな効果!正に目からうろこが落ちるとはこの事で、その性能には絶対の自信があります。貸し出し試聴可能です。

Maximum/Type32
AC-RL(Maximum)32:タップ専用
AC-RL(Maximum)33:汎用タイプ
AC-DA(Maximum)36:
DAコンバーター内蔵用
AC-Music Conductor 35:
プリアンプ専用

KAISER SOUND

Rosenkranz

どんな内容でも
お気軽に
ご相談下さい

http://www.rosenkranz-jp.com
〒135-0045 東京都江東区古石場2-14-1-606 カイザーサウンド有限会社
貝崎静雄 03-3643-1236 ※東京試聴室でご体験ください(無料です)

音の良いオーディオラック

オーディオラックだけは比較試聴する事が難しいので、納得して購入するという事が簡単に出来るものではありません。何故ならば、配線を外し、機器も全部下ろし、もう一度セットアップしなければならない大変さがあるからです。

ご安心下さい!そんな不安要素を一気に吹き飛ばしてしまうほどの、音、機能性、デザインの3拍子揃った性能ぶっちぎりのラックを開発しました。棚板には実績あるハードメイプルの採用は勿論ですが、52・5ミリピッチの高さ調整可能なスティールアングル脚もリアルな音を生み出す重要な役割を担います。エコプラス製高性能オリジナルスパイクが付属。

高さ535ミリ、850ミリ、1008ミリの3タイプです。棚板の数は3段、4段、5段と自由に選べます。

オーディオの腕は現場で磨け

カイザーサウンドはメーカーとしての製品開発力とクリニックという形で、直接顧客宅を訪問しステレオのセッティングを行なうトップランナーとしての能力を併せ持つ、オーディオ界では極めて稀な存在です。恥をかく事を恐れず、一日一日ミリ単位の地道な努力によって、オーディオセッティング技術を磨いて来たのであります。効率とか利益偏重の殺伐とした時代に「一一」を示し、感動を互いに授受出来る、顔の見える仕事がしたいのが本音です。

カイザーサウンドはオーディオクリニックの第一人者

Googleで「オーディオクリニック」のキーワード検索をすると、「カイザーサウンド」のウェブが1番にヒットします。お客様宅へのクリニックやセッティングという形で、音の調整能力を高める機会や場を与えて下さる事が、音楽を愛する人々の望む「これぞ音楽!」という核心を把握するのにどれだけ役立っているのか計り知れません。

売れる商品よりも欲しくなる商品を作りたい

そんな実践こそが新しいアイディアを生み、次世代の製品に反映され、オーディオファイルの皆様に恩返しが出来るのです。このようにプラスの連鎖として働いているのが、ローゼンクランツ製品の魅力ある音楽性の秘密であり、信頼のメカニズムであります。売れる商品ではなく、欲しくなるような商品を作ります。

本格的にスピーカーを手掛けるようになった理由

カイザーサウンドでは手持ちの機器を安易に買い換える事無く、出来るだけ良い音にすべく縁の下の力持ちとして頑張って参りました。その一方で現実を冷静に振り返ってみますと、現代のハイエンドと呼ばれるスピーカーは耐入力こそ高いものの、電気的燃費が極めて悪く、まともに鳴らすにはアンプやケーブル等に莫大なお金が掛かります。

「鳴らたくない」と駄々をこねるようなスピーカーではなく、生まれながらに感性豊かで「歌うのが好きなスピーカー」を用いてシステムを構築した方が、コスト面でも、また最終的にシステムから出てくる感動もより大きいです。そんな能率の高いスピーカーならば僅か3ワットもあれば朗々と鳴ると同時に、ケーブルにおいても大電流を流す必要も無く、安くて細い物でも充分に良い音がするものです。理に適わないモノは満足という二文字に決して手が届くものではありません。

カイザーサウンドでは15年前に次のような三つの格言を作りました。①鳴るように出来ている物は鳴るようにしてやれば鳴ります。②鳴るように出来ている物を鳴らないようにしているから鳴らない。③鳴らないようにしか出来ていない物は鳴らそうとしても鳴らない。

この見極めとアクションを起こす時が来てしまった!と判断したのが、本格的スピーカーを手掛けるようになった経緯であります。②だと思っていたら、多くは③だったというのが私が下した正直な結論であります。

ミュージカリティー

手漉き和紙による最高級フルレンジスピーカー

ならば、「これぞ私が理想とするスピーカーだ!」と断言出来るモノを作る使命があります。かくして最高級手作りフルレンジスピーカーのカーディナルシリーズの1号機、「ミュージカリティー」を'07春に発表。続くその秋には世界でも前例が無いと思われる、フルレンジにバッフルユニットをプラスした「マエストロ」を第2弾として発表。'09夏にトールボーイタイプの「Ｍａｇｉｃ」が完成。また、近日発売予定の後面開放型「ＫａｉｓｅｒＭａｇｉｃ」が仲間入りすると計4機種になります。

同じ音源軸上に、コーン、ホーン、ドームと異なる3つの振動板を持つ、「トライモードユニット」と名づけられた5インチのフルレンジは精緻を極め、音楽の魂を見事に描き切ります。

マエストロ

ローゼンクランツケーブルRGBシリーズ

ＲＧＢシリーズが30周年を機に更に性能アップします。ローゼンクランツには「スピーカーアタッチメント」という、スピーカーケーブルの先端に継ぎ足す形のユニークな音質改善アクセサリーがありますが、そこには膨大なノウハウが入っており、カイザーサウンドの音の全てであり原点とも言える製品です。その設計理念を構造に取り入れ、喜怒哀楽、そして音楽の全てを描ききる「ＲＧＢａシリーズ」の誕生です。

SP-RGB1a
先ず皮切りにスピーカーケーブル2機種を発売します。
SP-RGB1a/2.7kaiser
(¥52,500)
SP-RGB2a/2.7kaiser
(¥157,500)
SP-RGB3a/2.7kaiser
(開発中!)
ローゼンクランツは初めてで、「何を買ったら良いか分からない?!」。ならば、これを買ってください!。そんな一押しが「SP-RGB1a」です。これでローゼンクランツの魅力と音楽性とは何たるかが分かって頂けます。

カイザーゲージの思想を注入したケーブル/Ｂａｓｉｃ1

カイザーゲージをそのまま具現化したケーブルとして有名なＢａｓｉｃ1は、珍しくも信号ケーブルとスピーカーケーブルの共用設計であります。52・5ミリを音の良い長さの基本長とする「カイザーゲージ」ですが、Ｂａｓｉｃ1は素線の段階からその倍音構造にあたる1/100の直径0・525ミリの導体を、オリジナルビットまでも用意して引き出した自信作です。

「方向性に拘って巻き戻しまでやったりするところは、世界中を探してもどこにも無いはずですよ!」とは三菱電線技術者の弁であります。

Basic1 @¥3,780/m カイザーゲージ ¥5,250

音の良い製品を作るには設計が秀でていなければなりません。ローゼンクランツケーブルは手作りの関係上コストダウンには限界があります。それを量産品でも何とかしたい、そして、音楽によって「生きる喜びを感じて欲しい」と願って誕生したのが「Music Spirit」ブランドです。その記念すべきトップバッターがBasic1であります。

10万円からオーディオルームを設計

カイザーサウンドではオーディオルームの設計を'06年より10万円からお引き受けしています。実際の施工数はまだ少ないものの、完成後の感動値の高い音に「大成功だった!」と皆さん満足頂いております。

厳選原木杉のオーディオルーム壁

安価で簡単!音は最高!「肥えた土」「きれいな水」「澄んだ空気」の志賀高原から切り出された原木杉の中から、私の目で厳選した上で加速度組み立てを施したスピーカーの背面壁を商品化する事になりました。

壁や天井の内装仕上げは石膏ボードにクロス貼りというのが般的です。断熱や不燃性を考えると安くて良いのですが、こと音楽を聴く部屋として考えた場合にはデッドで音が良いとは言えない素材です。今ある壁を剥がす事無く、追加で貼って行く工法なので、ほこりも出ずどんな部屋でも簡単に施工出来ます。下地には12ミリ厚の高級合板を使い、カイザーピッチで釘を止めて行きますので、芯があって力強く響きの美しい音になります。見積もりは無料です。

まとめ

音の良い「カイザー数値」で作曲された譜面を元に、一糸乱れぬまで訓練を重ねた脇役陣が、ベストコンディションで貴方の楽器を主役としてお迎え致します。電気、振動、気流、部屋の4役全てがパーフェクトに調律されたオーディオ環境は、世界中のどこを探してもあるものではありません。これこそが「世界一と豪語するオーディオ環境。「カイザーサウンド」=「帝王の音」であります。